



植和紙工房
福西和紙本舗

宇陀紙
最高級の表装用裏打ち和紙。コウゾの甘皮(内樹皮)から、傷や変色部分を手作業で除き、本当に白い部分だけを原料として、それに白土を加えて漉きあげた手触りの柔らかい乳白色の和紙。書道用紙や障子紙など幅広い用途があります。

吉野和紙

「丹精込めて漉いたる紙はよ 江戸や浪花の床かざるよ」

入野トネルの入り口近く『紙漉きの里』の看板に記されているこの紙漉き歌。どれほど多くの人が、長い年月をかけて紙作りの技とそしてこの歌を歌い継いできたことでしょうか。国栖に紙作りを伝えたのは古代王甲の乱の中心にいた大海人皇子だという説もある程、古い歴史を持っています。コウゾの皮は寒中の澄み切った水にさらすのが良い紙作りの秘訣。近年になって水質が落ちたといわれる吉野川ですが、この清流がこの和紙作りを育ててきたともいえます。

芳玄漉舎
薬師寺高田好胤館長揮毫

吉野で古くから紙漉きをしている家という意味があります。この額を玄関に掲げて和紙を漉いています。

2020年10月23日(金) 奈良新聞

素早く縦に横に

奈良朱雀高 吉野で紙すき体験
県立奈良朱雀高校(奈良市柏木町、乾修司校長)の総合ビジネス科3年生約80人が21、22の両日、吉野町内で吉野の伝統産業、紙すきを体験した。郷土の伝統や文化から学ぶ授業「奈良TIME」の一環。同町国栖地区では、古くから伝わる方法で、表装の裏打ちに使われる「宇陀紙」などがつくられている。生徒は各日1クラスが二つの工房に分かれた。同町南大野の植和紙工房では、6代目の植浩三さん(52)が体験用の枠を使っ



て紙をすいた。同校3年の米山璃奈さん(18)は「実際にやってみて、素早くすくのはとても難しい作業だと感じた。伝統産業は後継者不足などが深刻だが無くしてほしくない文化です」と話した。このほか、吉野山の寺で止観瞑想も体験。学習内容にはレポートにまとめ、校内新聞でも報告するとい

吉野 紙漉き体験 国栖 (くず)



奈良 TIME 櫻本坊 止観瞑想



ご本尊：役行者倚像

修験道：

修験道は、今からおよそ 1350 年前 飛鳥の時代、役行者（えんのぎょうじゃ）により開かれた「実修実験の道」です

修行：

櫻本坊は、それぞれの「魂」を尊重し合いながら浄化をはかり、昇華できる空間であり道場です。

自己の大いなる魂 意識体は、神であり仏であります。

意義深く生命を全うするには精神的な軸をぶれなく強くすることが必要です。

瞑想や瀧行・写経などの浄行を通し、心身を正しく内観します。

生きた智慧を学び、ともに磨き分かち合います。

自身の素晴らしい神聖に気づき、自己調整を行い、現世に活かしましょう。



大峯山護持院 櫻本坊
神仏習合修験道場



櫻本坊 HP より転載

五郎平茶屋



五郎平園地は小高い丘の上にある小さな公園で上千本、中千本の眺めが良い。昔、五郎兵衛がここで店を開いたのが始まりと言われている。

櫻本坊縁起

万葉の時代 天智 10 年 … 天智天皇の弟、大海人皇子は吉野離宮日雄殿にてご修行されておりました。

激動の時代の中で、「野に放たれた虎」とも称された日々のこと。夢見の桜ある冬の夜、吉野の山の中に満開の桜がみごとに咲き誇る夢をごらんになりました。

翌朝めざめられ、前方の山を見上げると、冬だというのに夢そのままに一本の桜が美しく堂々と咲いていたのです。大海人皇子は不思議に思われ、すぐに役行者の高弟 角乗に夢判断を命じました。

角乗とは「宇宙の皇子」と称された役行者を師とし、大峰山で行を積む高德の僧です。角乗は謹んで答えました。

「桜の花は日本の花の王です。この夢は殿下が天皇の位につかれるよい知らせでしょう」と。

翌年、壬申の乱に勝利し、大海人皇子は帝位につかれ、天武天皇として即位されました。

天皇は大変およろこびになり、夢に現れた桜をもとめ吉野の山に登られました。そして、夢に見た櫻（天武天皇「夢見の桜」）と出会い、そのもとに道場を建立、「櫻本坊（さくらもとぼう）」と名づけ、角乗を住職に迎えたのです。

爾来、天武・持統天皇の勅願所となり、1300 年 神仏と共に大いなるいのちのなかで 天下の泰平（世界平和）・万民の安楽（すべての魂の安らぎ）を祈りもとめる修験道の根本道場として今日に至ります。

止観瞑想

